

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和元年度第3回入間市立図書館協議会
開 催 日 時	令和2年1月30日(木) 14時00分 開会 ・ 16時20分 閉会
開 催 場 所	入間市産業文化センター B棟2階 研修室(A)
議 長 氏 名	会長 白井久里子
出席委員(者)氏名	白井久里子 大竹千里 原田正則 清水繁 野崎皓布 秋元きみ江 高橋春代 田中宣子 青山衣津子 池田洋子
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	館長 佐藤智 主幹 矢須良男 副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 教育部長あいさつ 4 報告事項 (1)令和元年度事業実績について (2)令和元年度社会教育施設アクションプランについて 5 その他 6 閉 会 (すべて公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・次第 ・令和元年度事業実績(資料1) ・令和元年度社会教育施設アクションプラン(資料2)
事務局職員職氏名	教育部次長 関谷佳代子 図書館長 佐藤智 主幹 矢須良男 副主幹 渡部慎一郎 副主幹 松下麗比奈 主任 田中麻里
会議録作成方法	要点筆記方式

会議録(2)

議事の概要(経過)・決定事項

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 教育部次長あいさつ
4. 報告事項
 - (1) 令和元年度事業実績について
松下副主幹、各分館長より説明
 - (2) 令和元年度社会教育施設アクションプランについて
渡部副主幹より説明
5. その他
 - (1) 図書館評価外部評価について
渡部副主幹より説明
 - (2) 児童文学講演会について
渡部副主幹より説明
 - (3) 任期満了に伴う委員の退任について
佐藤館長より退任される委員の3名の方にお礼のあいさつ
白井会長より退任のあいさつ
6. 閉会

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
松下副主幹	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和元年度事業実績について</p> <p>本館からは、特に小中高との連携についてご報告させていただきます。</p> <p>「市内高等学校司書との連携会議」(p2)では、高校生の読書活動等について先生方と意見交換をしました。本館職員だけではなく、藤沢分館職員とヴィアックスの社員にも参加いただきました。会議の結果、万燈まつりのリサイクルフェアで入間向陽高校と連携しご参加いただくことができました。今後とも連携を図っていきたいと思います。</p> <p>「学校図書館ボランティア研修会」(p3)は、昨年度は48名の参加者でしたが、今年は63名の方にご参加いただくことができました。</p> <p>「学校図書館研究部研究会講師派遣」(p4)では、講義のほか団体貸出の更なるご案内を行いました。参加者はすべて小中学校の図書担当の先生です。</p> <p>また、「認知症ブックフェア」(p7)を全館でおこないました。</p>
柿原西武分館長	<p>西武分館よりご報告します。</p> <p>七夕工作会(p2)、夏休み工作会(p4)など保護者の方も同伴で参加できるイベントを増やしています。</p> <p>クリスマスコンサート(p7)は指定管理導入時に始めた事業で、今年度で4年目になりますが、非常に好評で楽しみされている方も多く92名の方にご参加いただきました。</p> <p>おはなし会は毎週水曜日、土曜日に実施していますが、開始時間を10:30に変えたところ近隣のあんず幼稚園、保育園の方に来ていただける回数が増えました。</p> <p>先日の視聴覚室を利用して実施した西武寄席(p10)は、定員100名のところすぐ満席になり、当日は86名の方にご参加いただきました。開催時期も良かったと思います。</p>
深野金子分館長	<p>金子分館からご報告いたします。</p> <p>「樹木医が語る金子分館の周りの自然」(p1)は、加治丘陵の植物を中心とした自然観察会を、樹木医の方をお呼びして実施しました。</p> <p>資料には記載をしていますが、金子公民館を利用されている色々な団体に対して、こちらから出向いて週1回、月1回等のペースで紙芝居や絵本の読み聞かせを行い、1,066名の方に支援させていただきました。</p> <p>また、今年度4月からは、認知症の当事者の方も参加されるオレンジカフェなどでも大人向けの紙芝居のご提供や、読み聞かせの支援をさせていただいていました。こちらは合わせて240名の方に支援をさせていただきました。</p> <p>金子小学校、金子中学校には3年前から朝の読書用に学級文庫の配本をさせていただいていますが、今年度4月からは新久小にも配本をさせていただいています。また、新たに調べ学習に力を入れていくということで、単元に合わせた貸し出しもさせていただいています。</p>

豊田藤沢分館 長	<p>藤沢分館からご報告します。</p> <p>「試験前臨時学習室」(p2)は主に中学校の試験の日程に合わせて公民館の部屋を利用して実施しました。</p> <p>一般向けの事業の充実を目指し、「はじめてのエンディングノート」(p2)、「大人の映画会」(p2)を実施しました。</p> <p>「つくって体験!ハーバリウム」(p3)は、大人と児童が一緒に参加できる講座ということで初めて実施しました。大変好評で、申し込み受付開始後15分ほどでいっぱいになり、色々な年代の方が集まり楽しい体験型講座になりました。</p> <p>「夏期臨時学習室」(p3)は例年8月末頃に実施していたのですが、夏休み開始後すぐの7月に時期を変更したところ若干利用が増えました。</p> <p>「こわいおはなし会」(p4)では、「市内高等学校司書との連携会議」(p2)に参加した際に、学生ボランティアについて先生にご相談させていただき、豊岡高校の学生1名に当日運営ボランティアとしてご協力いただきました。</p> <p>「絵本読み聞かせ教室」(p4)は昨年非常に参加が少なかったため、学校ボランティア研修会の際に実施したアンケート結果を参考にしながら日時を設定したところ、たくさんの方にご参加いただくことができました。</p> <p>通年実施している「おはなし会」(p9)ですが、4月から赤ちゃんタイムを設定しています。月に1度第3土曜日のおはなし会では、工作会を実施していますが、非常に好評で、これを目当てにくる子どももいます。</p>
原田委員	<p>「武蔵野音楽大学院生によるクリスマスコンサート」(p7)は「音楽を通して本に触れる機会を増やす～」とありますが、どのように進めているのですか。</p>
柿原西武分館 長	<p>当日はクリスマスソングに関する本などを展示して貸し出ししています。特に曲の説明をしたりはしていません。</p>
野崎委員	<p>工作会は材料費、講師への謝礼などが発生すると思いますが、それはどのように処理していますか。</p>
矢須主幹	<p>本館の場合、今年度の実績ではボランティア主体の工作会は行っていません。おはなし会のなかで毎月土曜日はおりがみ、おはなし会スペシャルではちょっとした工作をする機会があります。材料については、例えば先日は万華鏡づくりをしましたが、その際には図書館で使っているレシートロールの芯を使い、あまり費用のかからない方法で作成しています。</p> <p>ボランティアさんへの謝礼は、年間のおはなし会、冬のおたのしみ会の謝礼として図書カードをお渡しさせていただいているところです。</p>
柿原西武分館 長	<p>工作の本は所蔵本を利用しております。講師は図書館スタッフが1~2名で担当しております。材料はなるべく家庭にあるような牛乳パックなどを持ってきてもらって集めています。若干足りないものについては100円ショップで、全体で1,000円~2,000円以内で材料費として購入しています。</p>
豊田藤沢分館 長	<p>おはなし会の工作会では、おはなし会を担当する図書館の職員が手助けしながら作っています。材料は西武分館と同様に、身内で材料を集めたり、100円ショップなどで購入をしています。「つくって体験!ハーバリウム」(p3)</p>

	<p>のときも、専用の材料を買いと高いので、工夫して身近な消臭ビーズなどを使用しました。講師は私ども職員が務めました。</p>
深野金子分館長	<p>金子分館では工作会は実施しておりませんが、それぞれの事業については予算をとって適宜支出をしています。</p>
原田委員	<p>本館の「夏休み子ども文章のつづり方教室」は非常に魅力的ですが、こちらはこの期間を通しての事業ですか。また、どんなことをポイントに実施したかなど、もう少し詳しく知りたいなと思います。</p>
松下副主幹	<p>まず 8/6 に市内の工場にバスで見学に行き、工場のことを色々と話を伺った後、二本木公民館でうどんづくりサークルの方に実際に教えて頂きながら子どもたちと一緒にうどんづくりをしました。見学中には聞いたこと、感じたこと、におい、味などについて、何十枚、何百枚ととてもたくさんのメモをとっていて、それを頼りに 8/7～8 の 2 日間かけて作文を仕上げました。その作文を 8/22 に保護者の方や関係者の方をお呼びして発表、という日程になっています。さらに、その作文は「文芸入間」に掲載する予定です。</p> <p>こちらの事業ですが、市の商工観光課と「文芸入間」を作っている社会教育課と図書館の 3 課で共催して行ったものです。</p>
白井議長	<p>前の年に見学に行った工場の方が知り合いですが、自分たちの仕事をととても驚いて見てくれて、すごく面白かったとおっしゃっていました。</p>
池田委員	<p>p4 の「夏休み工作会」についてですが、参加者 17 名のうち保護者の方はどれくらいでしたか。</p>
柿原西武分館長	<p>保護者は 7 名のご参加でした。</p>
原田委員	<p>p5 の「児童向け手話講座」について、入門講座とのことですが詳細をお願いします。</p>
豊田藤沢分館長	<p>この講座は、私どもヴィアックスのテクニカルサポート室の者を講師に招き、実際に手話を使ってみるという内容のものですが、小学生に参加いただき、最初は自分の名前を手話で言ってみよう、というところから始めました。子どもたちは非常に喜んでいました。保護者の方は後ろで見学していましたが、とても興味深くご覧いただいていたので、今度は親子手話なども考えてみようかと思っています。</p>
渡部副主幹	<p>(2) 令和元年度社会教育施設アクションプランについて</p> <p>年度途中ですので、12 月末までの達成状況を「資料 2」のとおり集計いたしました。自己評価の点数は 12 月末現在の進捗率で機械的に評価させていただいております。1～3 月で事業実績が伸びてきますと、評価も上がってくると思います。順番にご説明させていただきます。</p> <p>(資料 2 にもとづき説明)</p>
清水委員	<p>p1 の 5 について、職業に関する資料について意見を述べさせていただきます。昨今、不景気等で労働市場等も変化していきます。それに即して、就職、転職、能力開発、高齢者の求職等されている方々から図書館に対して情</p>

	<p>報・知識のニーズが高まっているのではないかと思います。このような利用者に対応するため、資料の収集・提供、それに即したレファレンスサービスを充実させていただければと考えています。</p>
佐藤館長	<p>図書館では職業に関する資料に関して幅広く収集しています。子ども向けの「(職業名)になるには」といった本や、新規採用の方向けの本などコーナーを設置しております。今後も充実させていく考えですので、予算の範囲内で収集を進めていく考えです。</p>
清水委員	<p>P1の9についても要望になりますが、外国人の方も少しずつ入間市内で増えてきていますので、小学校の学校対応の本などはいくつかあるのですが、保育園の入園マニュアル等の外国語のマニュアルの資料などについても図書館があれば、生活の一助になるのではないかと思います。</p>
佐藤館長	<p>お望みのものがぴったりあるかと言えば、なかなか難しいところがあると思います。児童向けには簡単な英語で書いた本が用意してありますし、一般向けですと日本の生活習慣などを書いた本や日本の暮らしみたいな本はございます。多種多様な国からいらしている方がいますので、それぞれに合った言語の本も準備しなくてはいけないところですが、今のところは英語の本が多いのが現状です。機会をみて、今のご意見も参考にしながら選書に努めていきたいと思います。</p>
野崎委員	<p>計画をみますと、二本木や宮寺などの近くに図書館がない地域をターゲットにした行事を企画しようという意識をまだ感じられません。公民館を利用した図書館の活動を企画していただければありがたいと思います。私自身も二本木公民館では定期的に講座をやっていますが、子どもを対象にした講座がなかなかありません。公民館活動での「子どもの居場所づくり事業」というものはありますが、昨年活動をみますと、ただ公民館の空いている部屋を夏休みに開けているだけというような状態が続いています。</p>
高橋委員	<p>私もその意見には賛成です。前回会議でも宮寺配本所について意見しました。予算的なものもありすぐ出来ないとは思いますが、ボランティアのなかにも予算があると耳にしたので、その予算をそういう人の少ない地域にも流れるよう働きかけをしてもらって、活動が広がるようにしてもらえようお願いします。</p> <p>また、p3の14の入館者の増加について、本館の減少が著しいということでしたが、その原因についての分析はどのようにされていますか。</p>
佐藤館長	<p>宮寺・二本木地区についてはこれまで何もしてこなかった時期もあったと思いますが、二本木公民館とタイアップして「ママcafe」や「子育てひろば」等のイベントにも出向いて、絵本の読み聞かせ・紹介やバルーンアートなどを徐々に始めてきました。できるかぎり活動の場所を確保しながら、移動図書館なども利用しながら進めていければと考えております。</p> <p>また、高橋委員のおっしゃる予算についてですが、どの程度かかるか、どんな活動ができるか研究しながら早めに予算要求に繋げていければと思います。</p> <p>入館者数については、全館で1日約2,200の方が来館されていますが、減少の一番の要因は開館日数によるものと思います。また、このところの気候の変化の影響もあると考えています。また、入館者で一番少ない年代が中</p>

	<p>高生ですが、学校図書館の司書教諭とも連携をとりながら、魅力ある図書館づくりに努めていきたいと考えております。</p>
池田委員	<p>P3の8についてですが、人形劇の会場は産業文化センターでなければいけなかったのでしょうか。市民会館などの他の場所は利用できなかったのでしょうか。</p>
佐藤館長	<p>やはり図書館の利用につなげるためには、この部屋が（B棟2階）が一番良いのかなと考えています。たとえば市民会館などにブックトラックで本を持って行っても、なかなか貸出しするのが難しかったりしますので、会場としては一番条件が良いと考えました。</p>
清水委員	<p>p2の6についてですが、新たな図書館サービスを展開する上で、必要な知識・技能等を有するボランティアの参加を促進することは大事ではないかと思えます。そのため希望する方や、将来的な読み聞かせ以外のボランティアの参加に向け、ボランティア養成のための研修をぜひ実施していただければと思います。</p>
佐藤館長	<p>この委員を務めていらっしゃる方の中にも、読み聞かせボランティアの方が多くいらっしゃいます。また、先ほど事務局からお話したように、色々な事業の運営ボランティアとして、高校生や一般の方に参加していただけるような機会をこれから増やしていきたいと思えます。技能習得のための研修会も、予算の状況をみながら実施し、ボランティアが継続して活動しやすいような環境づくりに努めていきたいと考えています。</p>
大竹委員	<p>藤沢分館のボランティアも年々高齢化していて、おはなし会を運営するためのシフトを入れるのも大変な状況になってきています。人数はいても、その人数には週1回、年1回など実際に活動できる日にちが限られている方も含まれています。やはり新たなボランティアの募集をしたいという気持ちがありますので、ぜひボランティア研修会の予算を確保していただきたいと思えます。</p>
佐藤館長	<p>本館も含めて、広報や館内掲示など、できる範囲でボランティア募集のお手伝いができると思います。また、加入した方が安心して活動できるような研修会の実施を目的に予算要求をしております。</p>
秋元委員	<p>金子分館では、研修を実施している期間中には加入希望者が何人かいて、ボランティアの補充をすることができたのですが、そういう研修があると入りやすいようです。普段個人的に声をかけたりしても、少しとつきにくいような場面があります。また、研修会に来る方は、働いている若い方よりも余裕のある年配の方が多いと思えます。</p>
田中委員	<p>西武分館もボランティアは増えていません。古い方ばかりで、新しい方が入っても病気でお辞めになったり、亡くなられた方もいらっしゃいました。やはりボランティアの確保はなかなか難しいと思えます。現在は今いるメンバーで手一杯でやっています。</p>
原田委員	<p>p5の1（図書館見学）と2（図書館利用教室）は大変有意義で、子どもたちのためになっていますので、今後もぜひ継続していただければと思</p>

<p>清水委員</p>	<p>います。4 の移動図書館も、本校の児童はとても楽しみにしていますので、こちらもぜひ継続をお願いします。</p> <p>また、本校では子どもたちが自分で選んで本を読む力をつけさせたいということで、読書活動をすすめているのですが、そのためには本が必要ということで5 の配本サービスも大変助かっています。ありがとうございます。</p> <p>p5 の 7 についてですが、全庁的な子育て支援ということで、入間市でも色々やられていると思いますし、良いことだと思います。図書館サイドでは、健診の場を利用して、ブックリストの配布や読み聞かせなどはやられていると思います。また、子育てに関して不安な親御さんも多いと思いますので、子どもの発達段階に応じた推薦図書の案内などもあればと思います。最近では発達障害のお子さんが多いですが、少しでも早く周りが気が付けはどんどん変わっていきますので、関連した本も揃えていただきアドバイスしていただければと思います。</p>
<p>佐藤館長</p>	<p>子どもについての取り組みということで、本館では今年度から通常のおはなし会とは別に新たに月に1回、第3火曜日に幼児向けのおはなし会を実施していますが、だんだんと参加人数が増えてきています。藤沢分館でも赤ちゃんタイムを設けて、読み聞かせをしているところですが、保護者同士の交流が図られるなどの効果も見受けられます。</p> <p>発達障害につきましては、一般の方向けに関連した本を用意しておりますし、子ども向けにも簡単に理解できるような本を用意しております。また、LLブックという、文章だけではなくイラスト・ピクトグラムを用いたやさしくてわかりやすい本も揃えているところです。今後でもできる範囲で少しずつ充実させていければと思います。</p>
<p>野崎委員</p>	<p>p4 の 21 の金子分館だよりは、とても功を奏しているように感じます。私も公民館で色々な活動をしていますが、公民館だよりが住民の半分には届かないというなかで、広報でどうやって効果をあげるかが非常に問題です。私の住んでいる地区では自治会加入率が 50%にも達していません。隣の地区と合わせて子どもたちが 250 人もいますが、その半分子どもの家には市報も何も届いていません。そのような状況なので、金子の取り組みを見て羨ましく思いました。</p>
<p>佐藤館長</p>	<p>自治会の加入率が段々減少していく中で、未加入だと配布物も届かないというなかでの広報というのは、おっしゃるように各家庭に均等に浸透していくのは難しいのかなと思います。金子の現状について金子分館長よりご説明します。</p>
<p>深野金子分館長</p>	<p>金子の自治会加入率は 7 割程度で 3,800 戸中 2,800 戸に対して分館だよりを全戸配布させていただいておりますが、残り 3 割の世帯には配布できていません。金子分館では情報発信を非常に大事にしておりますので、金子駅など色々なところに行事のポスターを貼らせていただいております。自治会の掲示板やスーパー、郵便局など届けられるところにはすべて届けようということでやらせていただいております。あとは、小学校・中学校にも分館だよりを配布させていただいております</p>
<p>清水委員</p>	<p>p 7 の 3 の青梅市との相互利用については、距離的な問題もあり、入間市の人が青梅市に行ったり、逆に青梅市の人が入間市に来たりという行き来が</p>

<p>佐藤館長</p>	<p>しづらいのかなと思います。</p> <p>しかし、資料購入にあたり予算等の課題もあるなかで、より高度化・多様化した学習の要求に対応するためにも、近隣の公共図書館との相互連携はこれからますます重要になってくるのではないのかなと思います。</p> <p>青梅市の方が入間市の図書館を使っただけ件数は少ないですが、入間市民で青梅市の図書館を利用する方は非常に多いです。生活圏で青梅を利用している方が、車で出かけた際などに利用されているようです。それぞれ所蔵している資料も違うものがありますので、それぞれの利点をとりながらやっていければいいと思っています。</p> <p>今後、瑞穂町と連携を始めますと、入間市が接しているすべての市町と連携がとれますので、下話を少し進めていたのですが、急きょ瑞穂町が図書館の全面改修を実施することとなり現在中断しています。利用数のこともありますが、住んでいる方の選択肢が増えるように環境を整備していければと思います。</p> <p>年に数回、飯能市と青梅市とオブザーバーとして瑞穂町と連絡会議をしておりますので、そのなかで議論をしていって良いものにしていければと考えております。</p>
<p>青山委員</p>	<p>青梅市の件ですと、独身の同僚で福生の駅前に住んでいる人が、入間市は近いけれど道が混んでいるし、他に行く場所があるから滅多に行かないと言っていました。ある程度時間のある人でもそうだと、難しいのかなと感じました。</p> <p>私の知り合いにも、外国人の家族の方がいます。ある程度の日常会話ができますが、保育園等で必要な書類を日本語で書かなくてはならないことに苦労しているそうです。日本語に不安のある人は喋る以上に書くことが苦だろうなと感じられました。これからそういう人がどんどん増えてくると思いますし、それにより保育園側の負担も増えてくるのかなと思いますので、市役所で書類の書き方などを説明する日などがあれば、もっとお母さんたちも気が楽になるのかなと思いました。</p> <p>図書館でも子どもの読める英語の本を充実させることは、そういう子どもたちのためだけではなく、私たちの子どもも小さい頃から英語に触れる機会になっていいのかなと思います。時々でも読み聞かせで英語の本を取り入れてもらえれば面白いなと思いました。</p> <p>ボランティアの高齢化に関しては、週 1、2 回でも大変と思って尻込みされている方も多と思いますので、「2 週に 1 回でも良いですよ」というような掲示や図書館HPでのお知らせを載せて頂いて、少しでもやろうという人が出てくれればいいなと思います。月に 1 回でも来てもらえれば、今頑張っている方がその日は休んだりもできると思います。どうしても、毎週来なければいけないのかなというイメージが強いので、皆さんの目に触れるような館内掲示で少しずつ募集をして、講習を受けてもらうという流れになればいいなと思いました。</p>
<p>佐藤館長</p>	<p>図書資料の充実については、英語圏の方は英語の本があれば良いと思いますが、全ての言語の本をとというのは難しいところもあります。予算の範囲内で対応できるものがあれば対応してまいります。</p> <p>読み聞かせについては、今年藤沢分館の職員で英語に堪能な方が入りましたので、試しに英語での読み聞かせをやっているところです。人がいないとできないものなので、そういったボランティアさんが入ってくればいい</p>

池田委員	<p>などと思います。</p> <p>ボランティアの募集については、ボランティア団体と連携を取っていくなかで、館内での掲示など図書館でもできることを行い、少しでも新たにご入いただけるよう取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>青梅市との相互利用ということで、行きたくても車がなくて行けない人のためにバスがあれば、もう少し利用が増えるのではないかと思います。図書館だけではなく全庁的な話になるかと思いますが、青梅行のバス自体も減っていますし、ミニバスみたいな形で図書館に寄るようなコースがあればいいなと思いました。</p>
佐藤館長	<p>「入間市-河辺駅北口」のバス停の終点で降りたところに、ちょうど青梅市の中央館がありますので、そこへは容易に移動ができると思います。瑞穂町の図書館についても、八高線の駅から降りて徒歩 15 分くらいで行くことができます。コミュニティバスについてはそれぞれの自治体内の運営になりますので、自治体で運営されているコミュニティバスを利用して、本線のバス停まで出て、利用していくような形になると思います。今後とも一生懸命PRをしてまいります。</p>
秋元委員	<p>青梅の図書館に行ってみたことがあります。紙芝居を借りようとしたのですが、個人としてしか借りられませんでした。催しのために、団体として長期に貸し借りができるようなシステムがあれば借りやすいなと思いました。</p>
佐藤館長	<p>いまお伺いしたことについては、連携会議のなかで話題にできるようであれば、話題にしていきたいと思います。</p>
青山委員	<p>p5 の 7 の子育て支援としてのブックスタート関連事業ですが、実際に行ったことがあるので現状をお話しますと、BCGを接種して終わった子が集められた部屋で薬剤が乾くまでの数分間でパンフレットの配布や読み聞かせをしている状況なので、図書館の人が可哀そうなくらいみんな聴いていないです。もっと何か別のところでアピールする機会はないのかなと思いました。歯科検診だと、子どもももう少し大きくなっているし色々なことに興味を示しだす時期なので、そちらの方がいいのかなという気もしますが、図書館が決められることではないので、市の担当者の方と話し合った方がいいのではないかと思います。</p>
佐藤館長	<p>本来は予算がとればブックスタートパックの配布ができるのですが、BCG接種時の読み聞かせについては、近隣市でやっているものを参考にさせてもらいながら始めたものです。色々な健診があると思いますが、待ち時間が日によっても違うでしょうから、どの機会を捉えても難しいなと感じています。良い方法があれば、ご意見を頂きながら決められればいいかなと思います。</p>
渡部副主幹	<p>その他</p> <p>(1)図書館評価の外部評価について</p> <p>お手元に封筒を配布させていただきましたが、中に図書館評価の外部評価のお願いが入っております。今回途中集計になりますが、ご意見をいただきたいと思っています。なお、外部評価の点数については、図書館側の点数と同じ</p>

<p>渡部副主幹</p> <p>佐藤館長</p> <p>白井会長</p>	<p>場合には記入不要です。3月13日(金)までにご投函頂き返送いただければと思います。</p> <p>(2) 児童文学講演会について お手元に児童文学講演会のチラシを配布させていただきました。ぜひ足をお運びいただければと思います。一般の方にはこれから広報いるま等でご案内する予定です。</p> <p>(3) 任期満了に伴う委員の退任について (退任される委員の3名の方へお礼のあいさつ)</p> <p>(退任のごあいさつ)</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>2年 3月31日</p> <p>議長 の 署名 <u>白井久里子</u></p>	